

ちいきの元気を育てる発信基地 COS 下北沢の活動

特定非営利活動法人コスファ（COSFA）

特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート

はじめに

地域に根ざした活動を支援したいという地主さんと地域に役立つ活動スペース・働く場所を持ちたいというグループ、信念をもってコーディネートされた NPO との出会いから 3 年。数多くの話し合いを重ね、2004 年 9 月に地域貢献事業（コミュニティビジネス）に取り組む事業体が 6 団体入居する建物「COS 下北沢」が完成しました。

「COS」とは、協働して活動する空間＝co-operative space の略称です。地域貢献型建物を広く知っていただけるよう「COS（コス）下北沢」と命名し、契約期間 20 年という長丁場に挑む運営主体は、NPO 法人コスファ＝co-operative space for all と称することにしました。

地主さんとは一棟一括借り上げ契約を結んだのですが、開業初期に 2 団体の入れ替わりを経験しました。様々な活動・事業がひとつ屋根の下に集まっていることは COS 下北沢の魅力であると同時に、運営の力量も問われます。

今回の活動報告は、今までの歩みを振り返る格好の機会でした。そして、改めて私たちの活動の場と運営の極意、それはやはり「COS」であり「COSFA」であろうと思うのです。

本活動報告では、COS 下北沢の完成までの経緯を振り返り、続いて各入居者団体による自己紹介と今後の展望を、最後に、現在 COS 下北沢のホールを活用している地域の活動団体の具体的な事例を報告いたします。



COS 下北沢以前の木造老朽アパート



COS 下北沢全景

1. COS 下北沢完成までの経緯

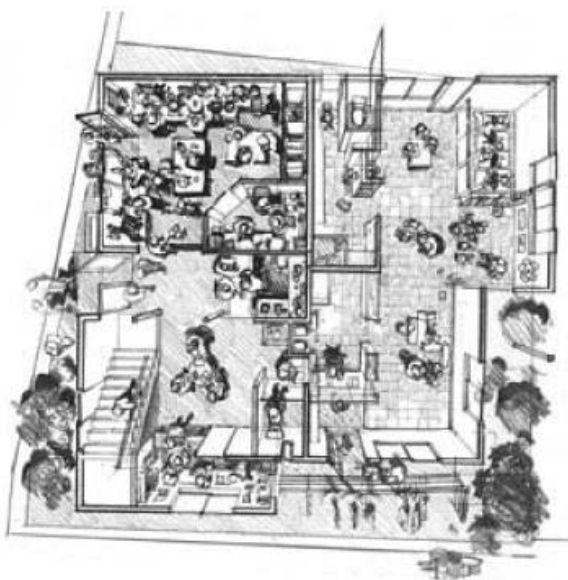
それは2001年12月、SAHS（Setagaya Alternative Housing support=せたがやオルタナティブハウジングサポート）、通称サースに、世田谷区内のまちづくり NPO である玉川まちづくりハウスからいただいた1本の電話から始まりました。

それから3年後にCOS 下北沢が誕生することとなる土地の所有者である河津恵子さんを紹介していただき、この土地の活用についてご要望をうかがい、ご自身が学生時代を過ごした下北沢の変貌を憂慮されていること、既存の古アパートを建て替えるにあたり、単なる共同住宅ではなく、何か地域に役立つ建物にしたい、だが活動団体も知らないのではとめてもらえないか？ということでした。SAHS の NPO 事業の大きな柱である、住民が主体的に住まいづくり（コーポラティブ住宅など）や、まちづくりにかかわる活動の支援に合致するものとして喜んでお受けすることにしました。早速、下北沢で事業を始めたい事業者を募り、月1回の会合を重ねながら、各事業者の合意形成を進め、2002年7月に立ち上げた「COS 下北沢をつくる会」には生活協同組合の組合員も多数加わり、この会を中心に、建設資金の一部を集めるとともに、所有者からの一括借り上げを可能にする NPO を設立しました。賃貸借期間は20年でした。

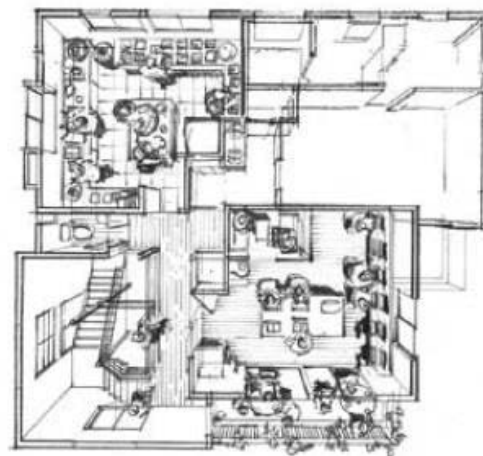
建物は2003年の12月に着工、2004年の7月に竣工し、8月に活動を開始しました。たて混んでいる細い路地の一角に、緑に縁取られたなぜかほっとする木造2階建ての建物が誕生しました。何事も話し合いで、の原則を貫き、2002年2月に開いた第1回から全体会は、2016年12月で180回を数えることとなりました。地域の課題を解決したいと強く願う所有者と、地域のために役立ちたいと活動している事業者が出会った時、その「偶然」は間違いなく「必然」に転換するものと確信しています。

（文責：特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート代表理事

井上 文）



1階



2階

2. 各事業所の活動

(1) まちづくり広場ザワーズ

地域で暮らす方々の「こんなことをやってみたい」「これが知りたい」「一步踏み出すステップがほしい」といった要望にこたえ、地域で安心して住み続けるための「生活の案内人」、地域に足りない機能を生み出す「仕掛け人」、そんな役割を果たしていきたくて考えてスタートしました。

今までの主な活動は、COS 下北沢の運営全般（会議進行、NPO 会計、助成申請、受託事業、ホール利用のスケジュール調整、広報・見学対応など）で、親しみやすく気持ちの良い運営を心がけてきました。

引き続き、地域貢献型建物「COS 下北沢」が持つミッションの共有と発信、運営のステップアップを通して、豊かなまちづくりネットワークに対する共感を一層広げたいと思っています。

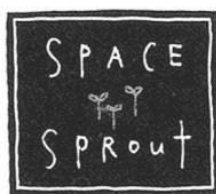


(2) 日本あみぐるみ協会

私たち日本あみぐるみ協会は 2001 年の 40 人の作家によるあみぐるみの展示会から始まりました。以降毎年展示会を開催していますが、あみぐるみのような小さな作品をたくさん飾れるギャラリーはまだあまりなく、ずっと会場を探すのに苦労をしていました。

その後、協会を設立し事務所を探していた時に COS 下北沢の立ち上げに参加する事ができました。自分たちがやりたいことを実現するための拠点を持てた事、なにより自分たちが使いやすいギャラリーを一から作れたことに満足しています。

そして地元商店街が運営準備をしていたアートイベントのスターティングメンバーとして参加し、地域とのつながりが持てたことも大きな出会いでした。



(3) 企業組合ワーカーズ・コレクティブキッズルームていんかあべる

1999年世田谷区三軒茶屋キャロットタワー3Fに区内初の一時預かり専門保育室を開室。第2保育室を検討していた頃、COS下北沢構想のお誘いを受け、建設計画から参加しました。建設費用は組合員の出資と労金からの借り入れで捻出、その後、世田谷区から補助金が下り、2004年9月に「キッズルームていんかあべる下北」として、開室しました。

当初は、なかなか人数が増えませんでした。ロコミなどで徐々に利用者が増え、ここ数年では、1年を通じて満室となっています。以前は学校行事参加や通院など、一時的な事由が主でしたが、年々、就労目的での利用者が増え、お子さんを取り巻く環境の変化を感じます。特に、世田谷区は、保育園待機児が全国1位で、保育園に入れなかったお子さんをお預かりすることも多く、一時預かり保育室の重要性を痛感しています。

COS下北沢での事業も10年を経過し、おかげさまで地域に根付いてまいりました。今後は、保育士確保と、若手の育成が課題となっております。



一時預かり保育



(4) 特定非営利活動法人グループ菜

夕食の宅配事業を主に、昼のお弁当配達、パーティなどのケータリングも行っています。仕事、家事、育児、介護などで忙しい方々の負担軽減になればという思いで1988年から食を通してサポート、応援をはじめ28年。新鮮安全性の高い食材を選び、野菜を主体に手作りの主婦の味を調理し当日にお届けしています。

グループ菜の活動は火曜日と木曜日。週に1回、2回、忙しい毎日の中でたまには食事の準備から解放され、お子さんと過ごしたり、自分自身の時間を増やしたり、また一人暮らしの方や高齢の方は食生活の変化に活用していただければ、そんな想いで活動している菜の家庭的な温かな夕食が一人でも多くの、必要な方々にお届けできれば嬉しいのです。



(5) (有) U 設計室 一級建築士事務所

2階の1室をお借りしている(有)U設計室は建物完成から2年目の2006年4月から参加している建築設計事務所です。早いもので入居から11年目になりました。元々は世田谷区役所近くで16年ほど仕事をしていましたが、建物建て替えて引っ越し先を探していたところご縁があってこの建物に入居することになったのです。

基本的に日・祝日を除き9時から18時までここで仕事をしているので、各団体の中では一番滞在時間が長い入居者のようです。

この建物が住宅のような規模でテイストもU設計室設計の建物に一見似ているので、初めて来られたお客様はこの建物は「U設計室」の設計で、この建物に私が住んでいるものと勘違いされる方が多くいらっしゃいます。

もう少し早くCOSの方々を知り合いになっていれば、この建物の設計に参加できたのかもしれないなあ。そこのところはちょっと残念！



3. 今後の活動に向けて

2008年『COS 下北沢5年間の記録を』発行の際、当時の理事長は、各事業体の運営を軌道に乗せることを第一義としつつ、NPO法人コスファが運営する「COS 下北沢」は、セルフガバナンスの場所として公共圏への拡がり期待されていることにふれ、地域の居場所としての拡がりと同時に、社会問題（環境、子育て、高齢者、食の安全）にも関わっていくことができたらと述べています。

オーナーとの契約期間20年の折り返しを過ぎた今、厳しい状況ではありますが、COS 下北沢は、各事業体の努力と協力により運営継続ならびに相互理解が進んでいます。

今後も健全な運営が最優先ですが、各事業体とのていねいな話し合いを前提に、社会の喫緊の課題として世田谷区も取組み始めている「子ども食堂」や「地域ミニデイサービス」にも積極的に取り組めたらと考えています。一時預かり保育や配食サービス、NPO間の連携といった経験を生かし、「COS 下北沢」らしい発信、事業の展開を模索します。

COS 下北沢事業者間を越えて、個人、近隣、NPOや市民活動団体、自治体との協働の輪を広げ、個人が輝くことのできる豊かな地域社会、『共生のまち』に向けて、少しでも貢献する「当初の夢」「ミッション」の継続に向けた人材の発掘と更なる拡がり願います。

活動報告

COS 下北沢を彩る仲間たち



健康麻雀「雀のお宿」

「来る人拒まず、去る人追わず」、年齢不問・・・
何とも自由なお楽しみひととき。高貴なウー
ロン茶、グループ菓の出来立て弁当もお望みの
まま。

活動日：第1・3火曜日 10時半～17時
参加料金：600円
(ご希望でウーロン茶等おかわり自由
200円、出来立て弁当 600円)

連絡先： 03-3412-8681
090-8588-7737 (稲川青子)



ビーズ教室

手先を動かす趣味を始めませんか？
ビーズの作品づくりをそれぞれのペースに合わ
せて少人数で楽しんでいます。

活動日：第1土曜日 10時30分～12時20分
第3月曜日 10時30分～12時20分
(祝日の場合は火または水曜日)

参加料金：入会金 3000円
月謝は月1回コース 3000円/2回コ
ース 5000円 (材料費は実費)

連絡先： 080-6554-5809
Ktmyu2005@khh.biglobe.ne.jp



書道教室

久しぶりに筆を持ってみたい、自信はないけど
書くことが好き・・・色々な思いが集まって始ま
りました。ここならはの自由なお教室です。

活動日：原則として第1月曜日 10時～12時
参加料金：月謝 2000円 (当日欠席の場合会場
費の300円のみ負担)

連絡先： 世田谷区世田谷 3-11-8-807
03-3427-4741
080-5007-8596 (水町)



ワンコインカフェー

仲間たちと美味しいお酒を飲みながら、ひとつ
のテーマでお話の花が咲く、至福のひとときを
あなたもご一緒にしませんか？

活動日：原則として第4木曜日 17時～20時
参加料金：会費 1000円 (お飲み物やおつまみ
の追加は別料金)

連絡先： <http://setagaya-coordinats.jimdo.com/>
(コーデ騎士団ホームページ)



Le petit lis (ル プティリス)

グループ菜をお借りして主にキッズルーム
ていんかあへるのスタッフが楽しんでいます

活動日：第4土曜日 10時～12時
参加料金：参加費が1回につき 1000円、
原則としてひとつの作品につき
材料費が 500円、油絵具を使用
する作品は2回講座 2500円
(現在の募集については応相談)

連絡先： Le petit lis(代表 萩原小百合)
090-9329-8978



マナブ de アソボつくりリンク

モノづくりの魅力を伝え、集まる方との交流を
図ること。ワークショップがクリエイターの一
つの仕事になるかを模索することが活動目的で
す。

活動日：不定期 10時～17時
ワークショップを午前午後2回実施
参加料金：1800円～7500円

連絡先： dzukulink@jcom.zaq.ne.jp



ぐるうぶ縫い縫い

懐かしい布が人の手と工夫でいまに蘇る・・・
ぐるうぶ縫い縫いはそんな魔法で手仕事の魅力
を伝えます

活動日：第2水曜日 10時半～15時半
参加料金：年会費 1500円
参加費 100円 (参加時)

連絡先： 03-3425-5466 (近森良子)



防災カフェ

地域防災を女性の視点で考え、ネットワークをつ
くる あみゅあむ が主催しています。

活動日：原則として、毎月第二土曜日
午後2時～4時
参加料金：800円 (お茶・お菓子付き)
※企画により金額が異なることがあります。

連絡先： 080-5086-6141 (砂田紀子)
amiamu_amiamu@yahoo.co.jp

4. COS 下北沢の歩み 年表

2001年	12月	土地活用について SAHS に相談が来る	
2002年	2月	第1回会合 参加希望活動団体による現地見学会	
	7月	第6回会合 「COS 下北沢をつくる会」 立上げ	
	12月	土地所有者と活動団体懇談会	
2003年	5月	第20回会合 資金集めの具体的方法検討	
	6月	NPO の名称決定コスファ (COSFA=Co-Operatibe Space For All) とする	
	7月	NPO 設立総会 ロゴマーク決定	
	10月	事業費決定	
	11月	工事業者決定/解体工事前お祓い/既存建物解体工事/確認申請	
	12月	地鎮祭/建築本体工事設計契約/懇談会/着工/NPO 法人認証取得	
2004年	2月	上棟	
	7月	竣工/賃貸借契約締結	
	8月	COS 下北沢オープニングウィーク	
	9月1日	COS 下北沢グランドオープン	
	9月	毎日新聞に地域貢献型建物として取材記事掲載	
	11月	都市と農村生産地と消費地交流 第1回	
2005年	5月	緑のカーテンづくり アスカマンによる土づくり講習会	
	6月	公益信託世田谷まちづくりファン活動部門へ申請助成金獲得	
	9月	1周年記念 こすきた祭り with しもきたキッズフェスタ 2005	
	10月	島づくり人材養成大学研修受け入れ 都市と農村生産地と消費地交流 秋田県立短期大学農村活性化 PJ 現地訪問 東京青年会議所主催「JCNPO フェア 2005」応募	
	11月	女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2005 参加 都市と農村生産地と消費地交流 第2回	
2006年	3月	ベビーシート・車いす用トイレ設置 COS 下北沢春のフリマ開催	
	6月	世田谷まちづくりファン活動部門へ申請助成金獲得	
	8月	COS 下北沢フリーマーケット	
	10月	都市と農村生産地と消費地交流 第3回	
	11月	NPO フェスタ参加 都市と農村生産地と消費地交流 愛媛岩城島第1回	
	12月	女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2006 参加	
2007年	2月	世田谷区生涯現役フェア 2007 に参加	
	6月	世田谷まちづくりファンネット文庫部門へ応募助成金獲得	
	8月	COS 下北沢ぶろぐ開始 COS 下北沢 3周年記念イベント (クラヴィコート演奏会、苔玉講習会、バザー)	
	10月	都市と農村生産地と消費地交流 第4回	
	11月	都市と農村生産地と消費地交流 愛媛岩城島第2回	
	12月	女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2007 参加	
2008年	2月	COS 下北沢 3周年記念シンポジウム開催	
	4月	ファン活動助成事業ネット文庫「COS 下北沢 5年間の記録」完成	
	9月	バザー開催 (近隣と協働)	

活動報告

- 10月 ホール利用規定改定
11月 冊子「COS 下北沢 5年間の記録 2003～2007」発行
女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2008 参加
- 2009年 3月 東大原小学校 PTA と連携 安全マップ、こどもを守ろう 110番、プレート貼付
10月 秋田産直会
12月 わくわくワークフェスタ in 世田谷 2009 「起業ミニメッセ」にパネル展示
- 2010年 2月 ACT 助成金決定 35万円
3月 財団法人世田谷トラストまちづくり「地域共生のいえ」登録、記念イベント実施
9月 COSFACafe オープニングウィーク
11月 女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2010 参加
- 2011年 3月 ACT 助成金決定 30万円
8月 ザワーズ主催で東日本大震災支援イベント
10月 インターネット環境整備
11月 床パネル貼り工事
わくわくワークフェスタ in 世田谷 2011 パネル展示参加
- 2012年 2月 東日本大震災支援イベント 短歌・写真展開催協力
5月 講演会開催 COS 下北沢運営一ふりかえりと今後に向けてー
9月 ホール&カフェ利用規定・料金改定
11月 わくわくワークフェスタ in 世田谷 2012 パネル展示参加
12月 世田谷トラストまちづくり「3軒からはじまるガーデニング支援制度助成」決定
- 2013年 2月 セブンイレブン記念財団の助成事業助成決定
「3軒からはじまるガーデニング支援制度助成」シンボルツリー・草花植栽
3月 セブンイレブン記念財団の助成事業で「地域のベンチ」設置
4月 ホームページリニューアル <http://npocosfa.com/>
10月 こすきた祭り
11月 わくわくワークフェスタ in 世田谷 2013 パネル展示参加
- 2014年 1月 セブンイレブン記念財団の助成によるシンボルツリー・草花植栽
2月 利用団体の協力で COS 下北沢植栽の名札づくり
4月 外装修理（ていんかあべる門扉他木部塗装）
7月 NPO 法人リンクがまちづくり広場ザワーズと事務所共有使用開始
10月 開業 10周年記念こすきた祭り
- 2015年 4月 COS 下北沢ホール利用料金の改定
5月 NPO 法人リンクとの契約終了
6月 掲示板に大型月刊スケジュールのお知らせ
9月 こすきた祭り
10月 COS 下北沢での子ども食堂開催の可能性について意見交換
地域共生のいえ瓦版 6号に COS 下北沢が取り上げられる
- 2016年月 1月 地域デイサービス事業について実施検討開始
6月 「せたがや自治政策 Vol.8」にグループ菜および COS 下北沢が取り上げられる
9月 こすきた祭り

このほか毎年、こすきた通信を発行。視察・見学は多数。